

あなたの好奇心に答える

特集

vol.17

平成20年3月発行

よみがえる
源氏物語の世界

OPEN YOUR BOOK AT PAGE 4, PLEASE



「源氏物語コーナー（中央図書館）」

目次

- 2 インタビュー 『源氏物語』を軸に古典を楽しむ
京都橘大学名誉教授 鈴木 紀子 さん
- 3 お知らせ 自動音声応答サービス
～あなたの「読みたい」をサポートします～

- 4 5 特集 よみがえる源氏物語の世界
- 6 図書館の特色紹介 左京図書館
- 6 図書館コラム おおきく大きくなあれ
- 7 図書館の特色紹介 久世ふれあいセンター図書館

- 7 U.C.Libニュース 「右京中央図書館」6月開館（SANSO右京3階）!!
- 8 利用者の声 古典と読書
- 8 編集後記 平安時代にタイムスリップ

アスニー・セミナーで講演！ 鈴木紀子先生にインタビュー！

『源氏物語』を軸に

古典を楽しむ



すずき のりこ
鈴木 紀子

京都橘大学名誉教授。国文学者。京都市生涯学習総合センター講師、神戸新聞文化センター講師、谷崎潤一郎記念館講師等。『日本文学の男性像』『家と女性の社会史』など著書多数。

今回は、『源氏物語』に関する数多くの講座の講師を務められるとともに、京都アスニーで開催されているアスニーセミナーにおいて王朝女流日記をテーマに講師を務めていただいている、鈴木紀子先生にお話を伺いました。

平安朝文学との出会い

私は、学生の頃は『古事記』や『日本書紀』などを専攻していたのですが、大学院に進む時に、男女の心の機微に触れた御簾の向こう側の艶なる世界により強く興味を覚え、平安朝文学に転向しました。ただ、『源氏物語』は研究者にとっては相当な覚悟をもって取り組まなければならない近寄り難い作品でしたので、最初は『夜の寝覚』や『浜松中納言物語』のような後期物語、『更級日記』のような女流日記を主に

研究していました。ところが、これら後期物語や女流日記の多くは『源氏物語』から多大な影響を受けているので、『源氏物語』をやらなければ理解できないわけです。それで、周辺の女流文学に軸足をおきながら『源氏物語』の勉強を始めました。

女流文学の開花とその背景

平安時代は、『源氏物語』以外にも数多くの女流文学が一举に花開いた時代ですが、これほど多くの文学が女性によって生み出された時代は日本文学史上でも他に類を見ません。その理由として、まず「書く」ためにはエネルギーが必要ですが、そのエネルギーを生み出したものは当時の女性がおかれていた抑圧された状況だったろうと思います。何の悩みもなく、満たされた

状況からは優れた文学は生み出されません。また、この時代に平仮名という女性のための文字が誕生したことも大きな要因です。さらに、藤原氏が実権をもっていた当時は、宮廷に仕える女性たちの中で文学の才能のある人たちが重んじられていましたので、こうした状況も女流文学をサポートしたといえます。

『源氏物語』と古典の楽しみ方

源氏物語千年紀を機に、『源氏物語』を読んでみようと思われている方も多いいと思います。『紫式部日記』や『蜻蛉日記』、『更級日記』などの女流日記を読み、当時の女性たちのおかれた状況など、そこから読み出してくる共通のベースのようなものを感じてから『源氏物語』を読むと、より豊かな鑑賞ができると思います。作者と作品を短絡的に結びつけることは慎まねばなりません。『紫式部日記』を読んだら、『源氏物語』のなかにもそれまでは気がつかなかったいろいろな発見があります。ちよつと意地の悪いところなんかも含めて、作者の人間くささのようなものも垣間見えて面白さが倍増します。これは私の読み方ですが、物語にこう読まなければならぬというのはないと思います。人それぞれの読み方があっていいのです。そういう意味では、古典は原文で読むのが一番ですね。

例えば「あはれ」という言葉は、古語辞典ではいろいろな訳し方がありますが、その時にどのように訳すかは読む人によって異なるとよいのです。原文で読むことによって、訳者の読み方に左右されない自分自身の読みを膨らませることが出来ます。たとえ一部分だけでも原文に挑戦されてみてはいかがでしょうか。

古典というのは、ただ古いものが残っているというものではありません。印刷機のない時代に、何代にもわたって一字一字を写していくわけですから、やはり最後まで残るといえるのはそれなりのいいものが残ります。『源氏物語』を書いた紫式部も、『蜻蛉日記』などそれ以前の物語や日記をむさぼるように読んだと思います。『更級日記』の作者は『源氏物語』に強い憧れを抱いていました。物語を読む喜びは千年の昔も今も変わりありません。物語を読んで楽しいと思う、その楽しさは、現代の私たちも『源氏物語』を読み継いできた人たちも、同じなのです。

アスニー・セミナー

『蜻蛉日記』を読む

日時：三月十三日(木) 十四時～

『紫式部日記』を読む

日時：四月十七日(木)～五月十五日(木)

六月十九日(木)～七月十七日(木) 十四時～

講師：鈴木 紀子

受講料：各八〇〇円

お申し込み・お問い合わせ

京都市生涯学習総合センター(京都アスニー)

☎075(812)7222

自動音声応答サービス

☎ (075) 821-3010 (専用電話)

ご存知ですか？
こんなサービス！ ~あなたの『読みたい』をサポートします~



Q

「音声応答」って何ですか？？



A

借りている本の延長手続きや、「今何冊借りているか?」「予約した本が用意できているか?」の確認が、電話でできるサービスのことです。去年の10月から始まった新しいサービスですよ。では、実際に太郎さんとさくらさんのケースを見てみましょう。



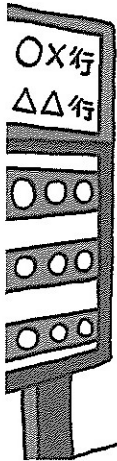
~太郎さんの場合~

予約確認



~さくらさんの場合~

貸出延長



予約の本は届いているかな？



長編小説を借りたけど、期限内に読めないわ

💡 そうだ、音声応答サービスで聞いてみよう！

💡 音声応答サービスで延長しよう！

ご用意
できています



延長しました



仕事帰りに
借りて帰ろう！



図書館まで
行かなくても
いいなんて
便利ねえ



◎ ご注意ください！

- ① ☎821-3010 (専用電話) におかけいただき、自動音声に従って操作してください。
- ② 夜間、休館日でもご利用できます。(ただし、午前0時から2時まではメンテナンスのためご利用できません。)
- ③ 貸出期限が過ぎている場合や、他の方が予約されている場合は延長できません。
また、ビデオ・CD・DVDは延長できません。
- ④ このサービスをご利用いただくには、図書館で事前にパスワードを登録していただく必要があります。



よみがえる 源氏物語の世界

『源氏物語』は11世紀の初めに紫式部によって書かれた長編小説です。美しく身分の尊い光源氏をめぐる、大勢の女性たちが登場する様々な愛の物語であり、平安時代の貴族社会を描いています。2008年は、『源氏物語』が記録の上で確認されてからちょうど一千年を迎える年です。『源氏物語』を知りたい、読みたいときに役立つ資料をご紹介します。

紫式部について

生没年未詳とされていますが、一説では生年は天延元(973)年頃とされています。藤原為時と藤原為信の娘との間に次女として生まれましたが、早くに母と姉を亡くし、父の下で育ちました。父の影響で漢籍に親しみ、優れた素質を示し父を驚かせたという逸話は有名です。27~28歳頃に藤原宣孝と結婚、一女賢子を産みましたが夫とはわずか3年たらずで死別します。失意の中で人間の愛憎をありのままに描いたのが『源氏物語』とされています。この作品の評判は時の権力者藤原道長の知るところとなり、中宮彰子に仕えることになりました。その後も物語は書き継がれたと思われまふ。没年は長元4(1031)年頃とされています。



＜紫式部墓所＞京都市北区

大意
めぐりあひて
見しやそれともわかぬ間に
雲がくれにし 夜半のつきかな
「百人一首」
久しぶりに会い、その人かどうか見分けがつかないうちに、雲の間に隠れてしまった夜更けの月のように、あの人はあわただしく姿を隠してしまわれた。

源氏絵を楽しむ

五島美術館と徳川美術館にある『源氏物語絵巻』は、現存する最古の絵巻で国宝に指定されています。物語を理解する上で、また平安時代の優雅な王朝文化や風俗を知る上で非常に貴重なものです。色彩鮮やかで美しい絵巻を見ていると、目の前に『源氏物語』の世界が広がってくるようです。

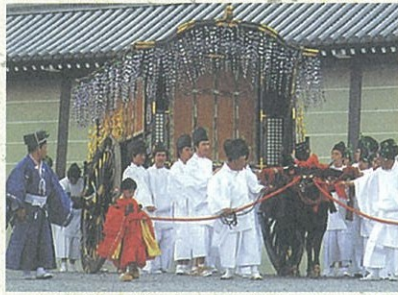
絵巻は、絵と「詞書き」という物語を説明する文章で構成されています。



夕霧＜国宝 源氏物語絵巻＞五島美術館蔵

源氏物語で描かれた行事

現代でもなじみ深い端午の節会(節句)や追儺式(鬼やらい)、曲水の宴や賀茂祭(葵祭)からは当時の衣装やしきたりをうかがい知ることができます。



＜賀茂祭(葵祭)＞上賀茂神社・下鴨神社

「葵—第9帖」での葵祭の禊の日、六条御息所と葵の上の従者たちが起こした車争いの場面は、よく知られています。



＜追儺式 鬼法楽＞廬山寺

追儺式(鬼やらい)
当時は旧暦12月の大晦日の夜、舎人が疫病の鬼に扮して行われていました。

「須磨—第12帖」では、光源氏が自分の身代わりの人形を舟に乗せて流し、汚れや災いを祓い清めるという場面があります。この水辺で人形を流す儀式が転じて、流水に杯を浮かべ、歌を詠む曲水の宴になったのです。



＜曲水の宴＞城南宮

城南宮では4月29日と11月3日に曲水の宴が行われています。

源氏物語の舞台から



廬山寺 紫式部邸跡

紫式部が生まれ育ち『源氏物語』を執筆したとされています。「帯木」(第2帖)「空蟬」(第3帖)の舞台として描かれ、光源氏と空蟬の出逢ったところとされています。

＜源氏庭 紅葉＞廬山寺

北山

「若紫」(第5帖)では、熱病を患った光源氏が祈祷のために北山に出かけます。近くにあった寺を覗くと藤壺に似た少女がいます。若紫との出会いの場面です。



若紫＜住吉内記廣尚筆 江戸時代＞廬山寺蔵

野宮神社

「賢木」(第10帖)に登場する野宮神社は、光源氏と彼を想い続けた六条御息所の別れの舞台ですが、六条御息所の愛の強さから縁結びの神として知られています。

「葵」(第9帖)では、葵の上を苦しめる物の怪になった六条御息所ですが、斎宮になった娘とここ野宮神社で精進潔斎の日々を送っていたということです。



野宮神社

渉成園

光源氏のモデルとなった源融邸の一部といわれ、緑溢れる広々とした庭園をもっています。「夕顔」(第4帖)で光源氏が夕顔の姫君を「某の邸」にお連れになりました。その某の邸はこことされています。



渉成園

「光源氏が見た京都」 麗谷 壽/文 学研より抜粋

源氏物語

源氏物語入門

- 『こんなにも面白かったのか! 源氏物語』 青木 登/著 (けやき出版)
- 『はじめての源氏物語』 鈴木 日出男/著 (講談社)
- 『絵で見るのしい古典③ 源氏物語』 川上 親孝/編 (学研)

源氏物語

現代語訳で読む

- いろいろな作家の手によって現代語訳されています。
- ・今泉 忠義・円地 文子・瀬戸内 寂聴・田辺 聖子
- ・谷崎 潤一郎・中井 和子・橋本 浩・与謝野 晶子・吉屋 信子

源氏物語

原文で読む

- 『源氏物語16 別冊』 秋山 虔/著 (思文閣出版)
- 『源氏物語手鏡』 清水 好子 他/著 (新潮社)
- 『原色かな手本18 源氏物語絵巻』 藤原 伊房/著 (二玄社)

左京図書館

春は桜、冬は雪化粧した比叡山や北山が楽しめる高野川沿いの川端通。左京図書館は、その高野川に架かる夢倉橋を東に入った左京合同福祉センターの2階に位置し、同じ建物には左京老人福祉センター・左京老人デイサービスセンター・高野児童館もあり、赤ちゃんからお年寄りまで広く地域の皆様に親しまれています。また、平成11年5月14日に現在地に新築移転開館して以来、翌年5月15日から夜間・祝日開館を地域図書館で初めて実施するなど、京都市の地域図書館でもよく利用されている図書館として定着しています。

当館では、子どもを対象として、毎月第4土曜日の「お楽しみ会」、年4回行う絵本コーナーの「飾り付け工作会」、毎週木曜日の「赤ちゃん絵本の読み聞かせ」を実施していますが、図書館友の会「けやき」の方々に、ボランティアとして絵本の語り聞かせや本さがしのお手伝いをしてもらっています。一方、地域で活躍されているPTA・ボランティア等を対象とした「読み聞かせ交流会」や、主に大人の方を対象とした「おとなのための語りを楽しむ会」・「映画上映会」も実施しています。また、図書館でほっとして楽しんでいただけるよう、児童書コーナーを中心に、季節ごとに職員

の手づくりの折り紙や切り絵などで飾り付けもしています。

なお、「アトピー対策に良い」というコルクタイルを敷き詰めた絵本コーナーに、移動式書架「えーほんねえよんで」を設置するなど、「赤ちゃんにやさしい図書館づくり」を目指す活動が評価され、平成19年度子どもの読書活動優秀実践図書館文部科学大臣表彰を受賞しました。

京都市立小中学校では、子ども読書活動推進のため「めざせ100冊読書マラソン」に取り組んでおり、左京図書館では100冊達成することに、職員がデザインした特別天然記念物の「オオサンショウウオ」と五山送り火のひとつ、東山・如意ヶ嶽の「大」の字をあしらったオリジナルの手づくりのしおりを配布するなど好評を得ております。また、中学生以



上の方に対しても、左京図書館独自の「読書ウォーク」用の冊子を作成し、100冊達成された方にしおりを配布しています。

今後も「生活の中に図書館を」をキャッチフレーズに、生涯学習の場として、地域の皆様に行事や展示会を通じて情報発信し、利用者の方から、親しみやすく使いやすい図書館として愛されるよう職員一同がんばってまいります。

図書館コラム 14 おおきく大きくなあれ



その女の子の名前はもえちゃん。背伸びをし

て、図書館のカウンターで、本が返却されていくのを興味深そうに眺めています。こちらから見えているのは小さな手と、くるくると動く大きな眼だけ。「おもしろい本はあった？」尋ねると、おかあさんのスカートの後ろに隠れてしまいました。恥ずかしがり屋のようですね。

それから、おかあさんと一緒によく来てくれるようになったもえちゃん。話しかけると、恥ずかしそうに頷いたり、首を横に振ったりして答えてくれます。カウンターに頸をのせて、貸出手続きが終わるのを待っているもえちゃんの髪が、今日は濡れています。「スイミング？ 何泳ぎ習（なる）てきたん？」手を軽く合わせ、両腕を耳にびったりくっつけるように、まっすぐ上げてくれました。「バタ足？」にっこり笑顔で「うん」。

しばらく、姿を見せてくれないもえちゃん。でもきつと、もつそろそろ。もう少し暖かくなったら…。

半年振りのもえちゃん。「久しぶりやね」。覗き込んでいたベビーカーから顔を上げて、嬉しそうに笑ってくれます。「もうおねえちゃんやね。赤ちゃん男の子？ 女の子？」「おとうとー」図書館に来なかった間のことを話してくれるもえちゃん。ちよっと背伸びをしながら。でも、カウンターに肘をついて。

昨年、京都市図書館の中で、伏見中央図書館が開館20周年、醍醐中央図書館が10周年を迎えました。そして、今年は右京中央図書館が新しく産声を上げようとしています。いまある図書館も新しくできる図書館も、すくすく育っていきまうように…。

久世ふれあいセンター図書館

今年6月には、開館10周年を迎えます。開館以来、子どもたちがとっちら本が好きななるか、そのために図書館として何が出来るかを探り、実践してきました。元来、子どもたちは、お話を聞くのも、読むのも大好きです。いつも身近にあって、親しみやすい図書館でありたいと思っています。

本が好きになる子どもに!!

「ちいさなおはなし会」(毎週月曜日午前11時から)は、赤ちゃん対象のおはなし会です。赤ちゃんを連れられたお母さん、時々お父さんも一緒に来られます。おはなしの後、お互いに情報交換したり、絵本を選んだりするなど、すっかり定着してきました。

「ウエルカム1年生」(小学校入学時)では、「図書館カード」を作って学校を訪ねます。その時、図書館の司書が本をいろいろ紹介しながら、お話を読みます(ブックトーク)。子どもたちは楽しそうに聞いてくれます。自分たちの学校に図書館の人が来て、お話を読んでくれるのが、うれしくてしかたがないようです。

「おたのしみ会」(毎週第3土曜日午後3時から)は、幼児から小学校低・中学年を対象にしています。絵本や紙芝居はもちろん、ペープサート(紙人形劇)やパネルシアター、人形劇なども行います。万華鏡やドングリコマ、貯金箱などの工作もします。

「子ども読書の日記念 おたのしみ会」は、地域の「びよびよ文庫」の皆さんに絵本や紙芝居・パネルシアター・わらべ歌などを行っていただいています。

「読書週間記念 おたのしみ会」は、久世ふれあいセンター1階のホールで行います。毎年違う大学の学生による「人形劇」を中心に、手遊びなど行っています。

いています。

小学校高学年児童・中学生を対象に「ヤングアダルトコーナー」を設置しました。毎週のように図書館に通って読んでいた子どもたちも、小学校高学年や中学生にもなると勉強に部活に忙しくなり、あまり図書館に顔を出さなくなりま。そんな子どもたちにこそ読んでほしい、楽しめる本を集めたコーナーです。なにげなく手にとった1冊が、生涯の本との出会いになってほしい!と願っています。



「子ども読書の日記念 ミニ・コンサート」は、久世ふれあいセンター1階のホールで行います。図書館と学校との連携の一環として、久世中学校吹奏楽部のみなさんによるミニ・コンサートを行っています。たくさんの方々に楽しんでいただいています。

「図書館だより」は、毎月小学校1年生〜4年生用と5年生〜中学生用の2種類を、大蔵小学校・久世西小学校と久世中学校に配布しています。地域限定版の「たより」です。

「おたのしみポイント」は、平成19年度の夏休み期間中に実施しました。5回来館するとプレゼントがもらえます。職員の手づくりで素朴なものばかりでしたが、好評でした。

「パートナーシップ」による「より身近で、利用しやすい図書館づくり」を進めています。そこで、<U.C.Libニュース>では、開館準備の様子を毎月お届けしています。

※U.C.Lib…Ukyo Central Library (右京中央図書館)の略

<U.C.Lib ニュース⑦>

「右京中央図書館開設準備室」では、ワークショップや市民アンケート等でいただいた意見・要望を反映した「市民との

地下鉄太秦天神川駅前 市街地再開発施設

『SANSA右京』20年2月29日竣工!

「右京中央図書館」6月開館 (SANSA右京3階)!!



「右京中央図書館」のほか右京区総合庁舎や右京地域体育館等が入る、右京区の新たな拠点となる『SANSA右京』が2月29日に竣工しました。

「右京中央図書館」は、6月に同施設3階において開館する予定です。

開館に向け、3月からは館内での準備作業が始まります。

所在地

京都市右京区太秦下刑部町

最寄り駅

地下鉄東西線「太秦天神川」駅
市バス「太秦天神川駅前」
京福「嵐電天神川」駅 (20年3月開業予定)

お知らせ

●右京図書館の閉館について

「右京中央図書館」は現在の右京図書館を移転・拡充し、新たに開館するものです。よって、開館準備のため右京図書館は20年3月31日(月)をもって閉館する予定です。なお、3月31日までは貸出を含め通常通りの業務を行います。ご理解・ご協力の程よろしくお願いたします。

開館時には約21万冊の蔵書(CD,DVD含む)やインターネットパソコン30台、映像専用ブース等を用意し、皆様のご来館をお待ちします。



テーマ

古典と読書

あなた流の古典の楽しみ方やお薦めの作品を教えてください。

●東山区 福富 菜穂子さん(学生)

小学生の頃、図書館に行っては必ず古典文学を借りていた。特に『枕草子』や『源氏物語』など、宮廷生活が描かれているものがお気に入り、それを読んでは、まるで自分がお姫さまになったような気分になった。

そして今、私は大学で文学部に所属し、それらの作品をより深く味わうことができるようになった。残りの大学生活は、お姫さまではなく、今度は作者自身に近づけるよう、もっともって古典文学を学んでいきたいと思う。

●西京区 林 佐知子さん(無職)

古典の面白さは、何といっても自身の想像力だけが頼りという所にあると思います。たとえば、大伴家持は乗馬が得意、ハンサム、女性にモテモテの貴公子などと知れば、彼の歌までが妙に色っぽく見えてきたりします。

さて、奈良から江戸までの古典の旅もいよいよ終盤。ふり返ってみると『今昔物語』のバラエティ豊かな活気ある登場人物たちが私を呼んでいるではありませんか！ 彼らとの再会を期して、残りの旅を急いでいる昨今です。

●伏見区 後藤 のり子さん(会社員)

落葉見つ 想いにふける 我がまどに

私は朗読をさせて頂いている。本は「古典」が好きである。リズム、流れがある。言葉表現が美しく思う。夏目漱石の『心』、『永日小品』。北原白秋の『落葉松』、『徒然草』、『方丈記』等原文で声に出して読む。古典は人間世界を見せられる。味わいもある。読む人の成長につれて変化するもの。若い時、老年になっても読む事が出来る。人生も自然も古典である。

●左京区 東崎 すみ子さん(医療事務)

『源氏物語』の中では800首近い和歌が詠まれ、恋人や友人への手紙も和歌で表現されています。現代のような瞬時に届くメールのやりとりとは違い、紙を選び、言葉を選び、焚いたお香の移り香までも気遣いながら31文字に思いを込めて人の手に託した和歌には、ゆったりと時間をかけて言葉を大切にしていた都人の文化が感じられます。紫式部も眺めたであろう同じ京都の夕焼けのもとでこの物語を読むと、今私にできる現代と千年前の悠久の都をつないでくれるような気がします。

●右京区 外村 隼一さん(無職)

私は古典について語れる程高邁な学識や知識がある訳ではない。ただ読書が好きで、いろいろなジャンルの小説をランダムに読んで来たにすぎない。

ある日不思議な現象に気が付いた。デジャビューー既視感ーが起こったのだ。本の進行と同時に「すっ」と物語に同化し、登場人物と生活を共にしていた。江戸時代であった。私の前世であったのかな。面白いものだ。残念ながら大金持ちではなく、頑固な大家の差配する棟割長屋の住人であったが、更に興味が湧いてきた。では今からもう一つの前世を探してみよう。

編集後記

「平安時代にタイムスリップ」

今回、「源氏物語」にゆかりのあるいくつかの場所へ取材に行きました。その中で印象に残ったのは野宮神社でした。道中、嵯峨野の竹林の美しさを見て古に思いをめぐらせて、「六条御息所はこんなところまでどうやって来たのだろうか」「娘と共に牛車に揺られて来たのだろうか」と考えると、当時、都で暮らしていた身にとっては心細い旅であったことが想像されました。野宮神社は意外に小さく質素な造りで、黒木の鳥居が凛として立っていました。当時はもともと寂しい場所だったことでしょう。

京都の町には平安時代の面影が残った場所がたくさんあり、中央図書館のすぐそばには当時の内裏の跡碑があります。皆さんもゆかりの場所を訪ねて、「源氏物語」の世界に思いをはせてみませんか？

子どもを共に育む 京都市民憲章



社会のあらゆる場で実践し、
行動の輪を広げましょう！

京もものがたり vol.17

発行
平成20年3月

編集・発行
(財)京都市生涯学習振興財団・京都市中央図書館
〒604-8401 京都市中京区聚楽廻松下町9-2
TEL 075-802-3133
<http://www.kyotocitylib.jp/>
<http://www.kyotocitylib.jp/>

